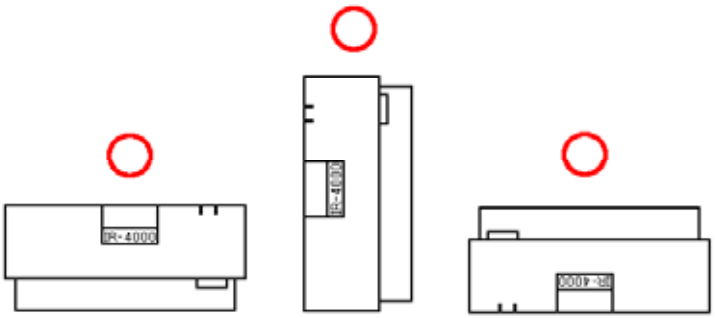
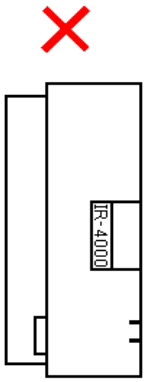
顕微観察イメージスキャナ取扱説明書

●反転状態での使用について

1、使用可能な向き



2、使用不可能な向き



・正常に画像が取り込めません.

故障の原因となります.

●輸送時のキャリッジロックについて

性能を維持するために、イメージスキャナを運ぶ前には必ず、

キャリッジロック　を行ってください。

●焦点位置について

本製品は、焦点位置を原稿台ガラス表面から約+１０mmに調整済みです。

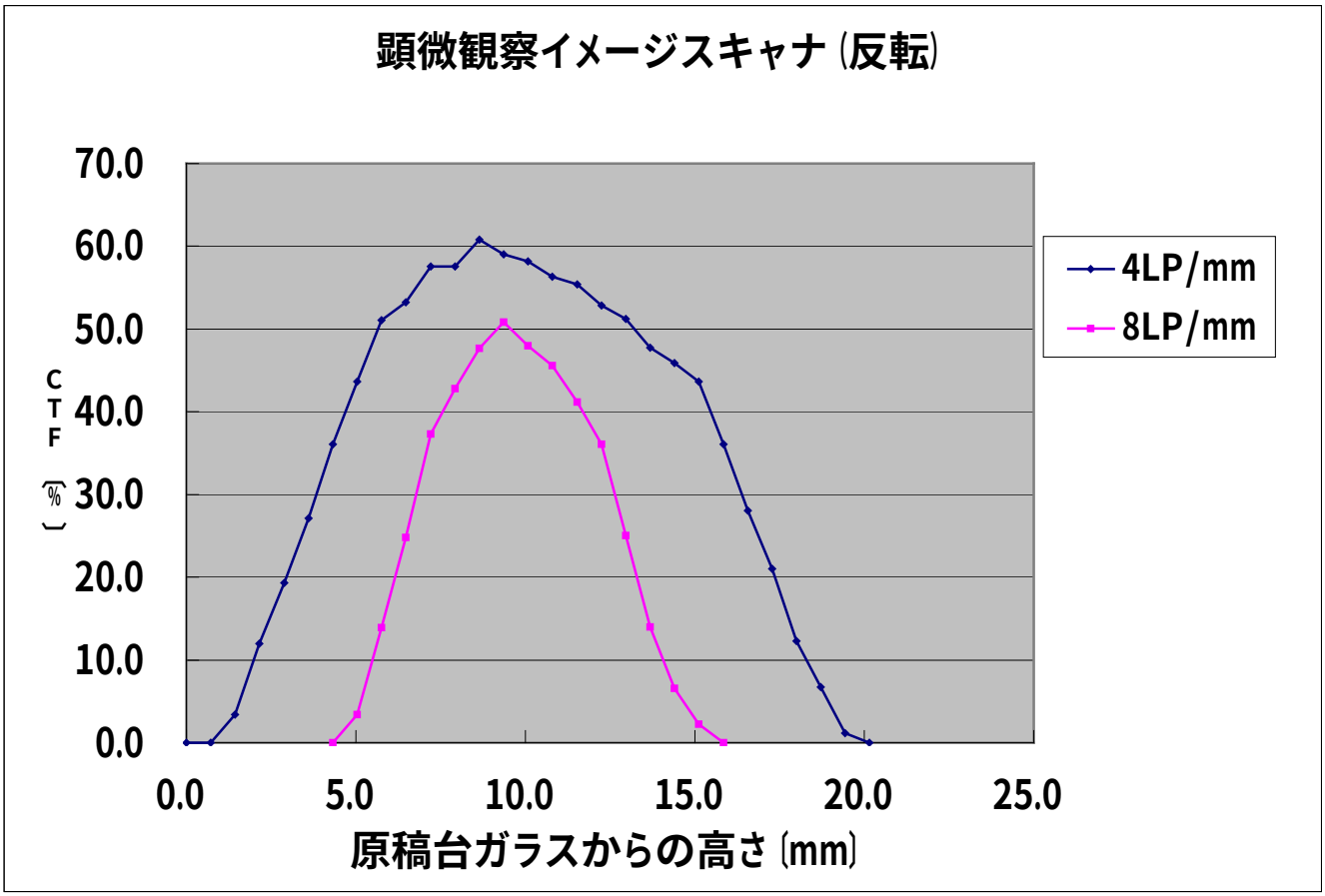
次のグラフは、原稿台ガラス表面からの高さに対する、光学分解能を表すグラフです。

グラフの見方：

・横軸は、スキャナ原稿台ガラス表面からの高さを表します。[mm]

・縦軸は、光学分解能を表し一般的に 30%以上にて「光学分解能が有る」と言われます。

・4LP/mm、8LP/mm はそれぞれ、1 ミリ当たり４本、もしくは 8 本の線チャートを意味し、400dpi, 800dpi のスキャン解像度に相当します。



4LP/mm(400dpi 相当)での使用においては、3.8~16.5mm まで使用可能です。
8LP/mm(800dpi 相当)での使用においては、6.8~12.7mm まで使用可能です。